

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・令和5年度内部監査（個人情報の管理に関する監査）及び
令和5年度文書管理監査に関する監査の実地監査が終了しました
■【監査ニュース】
・運動部　不祥事呼ぶ閉鎖性　薬物・暴行・恐喝…後絶たず 【12/2　産経新聞】 他 10 件
■【連載企画】
・オールカンサニッポン！「個人情報漏えい等発生時の報告について」
■【Audit Cafe】
・雷（雪）の決勝戦！？

表題写真 ： 閖上の灯台

内 部 監 査 情 報

・令和5年度内部監査（個人情報の管理に関する監査）及び令和5年度文書管理に関する監査の実地監査が終了しました

令和5年度内部監査（個人情報の管理の管理に関する監査）及び令和5年度文書管理に関する監査の実地監査が終了しました。対象部局の方々におかれましては、事前準備から当日の対応までご協力いただきまして、誠にありがとうございます。追加で確認させていただく事項等もございますので、引き続きご協力のほど宜しくお願いいたします。

監査室内での確認作業が終了次第、監査報告書を作成し、書面による意見調整を依頼いたします。意見調整は、記載内容について事実の相違がないかの確認となります。引き続きご協力をお願いいたします。

監 査 ニ ュ ー ス

・運動部　不祥事呼ぶ閉鎖性　薬物・暴行・恐喝…後絶たず 【12/2　産経新聞】
・授業に生成 AI、思考育む　大学の 3 割開始　不正懸念も 【12/3　日本経済新聞】
・名大病院の自己研鑽「厚労省の通達範囲内」【12/6　朝日新聞】
・大学共通テスト志願 50 万人割れ 【12/6　毎日新聞】

・入試統括部署新設へ　山形大　ミス再発防止策 【12/8　河北新報】
・「運営会議」の設置義務化　改正国立大法人法成立 【12/14　河北新報】
・学術開始、民間法人に　政府方針案　会員選考に外部の声 【12/19　日本経済新聞】
・地域中核・特色ある研究大学　北大・慶大など 12 校選定　文科省 【12/23　朝日新聞】
・若手研究者育成（特別研究員制度）に 163 億円 【12/23　毎日新聞】
・知財・標準化支援　企業・大学など共同研究　認定制度創設へ 【12/25　日刊工業新聞】
・国立衛生研前部長が論文捏造 【12/28　毎日新聞】

連載企画



毎回個性的なラジオパーソナリティが、リスナーからのお便りを取り上げ、
監査について一緒に学んでいく深夜ラジオ。
第6回目は、【ドキュ★マネ】による「個人情報漏えい等発生時の報告について」です。

ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON



（ドキュ★マネ）

はじまりましたオールカンサニッポン！本日のRP（ラジオパーソナリティ）はドキュ★マネです。さっそくリスナーからのお便りを紹介します。ラジオネーム、ピヨスタさんから「先日、個人情報の管理についての内部監査があったんですけど、実は何をすべきなのかイマイチわかっていないんですよね。とりあえず、何かあったときにどうすればいいんでしょうか？」といただきました。
あれ？前回、私が RP だった回でも質問をくれたピヨスタちゃんですね？オッケーオッケー。それでは個人情報漏えい等発生時の報告についてお話ししますね。

令和2年（令和4年度施行）の個人情報保護法改正により、個人の権利利益を害するおそれが大きい事態の場合、個人情報保護委員会への報告及び本人への通知が**義務化**されました。同委員会への報告は**速報（3～5日以内）**と**確報（30日以内）**の**二段階**で行います。速報は3～5日以内とされていることから、個人情報漏えいが発生した場合には**詳細確認完了後ではなく、大至急**、本部の担当係である総務企画部法務・コンプライアンス課文書審査係へ報告しましょう！



同委員会への報告対象は

（1）　要配慮個人情報（※）が含まれる事態

（2）　財産的被害が生じるおそれがある事態

（3）　不正の目的をもって行われた漏えい等が発生した事態

（4）　1，000人を超える漏えい等が発生した事態

となっていますが、同委員会への報告対象外の場合も、漏えい被害の範囲、社会的影響度等を勘案し、文部科学省へ報告が必要になるものもありますので、**個人情報の漏えいが発覚したらまず、総務企画部法務・コンプライアンス課文書審査係（片平　91-5122）へ相談・報告を行ってください。**

（※）要配慮個人情報とは、「本人の人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴、犯罪により害を被った事実その他本人に対する不当な差別、偏見その他の不利益が生じないようにその取扱いに特に配慮を要するものとして政令で定める記述等が含まれる個人情報」です。



以上のように、部局→本部→個人情報保護委員会等への報告は速やかに行う必要がありますが、皆さんは、そもそも自分の部局の誰に報告をすればいいのかを理解されているでしょうか？事務連絡会議構成員や、個人情報管理についての通知等を受け取ることが多い総務係の方は当然ご存じかと思いますが、その他の係等の事務職員（非常勤職員や派遣職員含む）、教員及び技術職員の方々も皆さんご存じですか？個人情報が漏えいした場合、誰に相談・報告すべきかを理解していなければ、報告が遅れるだけではなく、被害拡大のおそれもあります。

「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」では、教職員が個人データ等の漏えい等安全確保の上で問題となる事案又は問題となる事案の発生のおそれを認識した場合は、直ちに 当該個人データ等を管理する**個人情報保護管理者（部局の長）へ報告しなければならない**旨規定されています。ただし、実務的には個人情報保護管理者（部局の長）を補佐し、個人データ等の管理に関する事務を処理することになっている**個人情報保護担当者へ報告することとなっていますので、**ご自身の部局の保護担当者をご確認ください。

【参考】

・東北大学の個人情報保護制度 HP （学内限定）

（東北大学本部事務機構　総務企画部法務・コンプライアンス課文書審査係　HP 内）

※ご自身の部局の個人情報保護担当者がわからない場合は上記 HP（1）に掲載されている個人情報保護管理者・担当者一覧をご確認ください。

なお、規程では「事案の発生のおそれを認識した場合」にも報告が必要とされておりますので、漏えいまでいかないヒヤリハットの場合においても報告を行ってください。ヒヤリハットも本部へ報告することで、今後の再発防止策を本部と相談しながら検討できますし、複数部局で同様のヒヤリハットが発生した場合には本部から通知や研修などの方法で各部局に注意喚起を行うこともでき、全学的な個人情報漏えいの防止につながります。





（ドキュ★マネ）

ということで、今回は「個人情報漏えい等発生時の報告」についてお伝えしました。個人情報については、事務職員はもちろんのこと、教員や技術職員の方々も関連することで、漏えいが発生してしまったら大問題ですし、取返しがつかなくなってしまいます。今回は漏えい等発生時の報告についてお伝えしましたが、個人情報漏えいが発生しないよう、改めてご自身の業務の中で常に意識し、対策を講じるよう注意してくださいね。

ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON

このコーナーでは、皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、
いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、
いただいたご質問には出来る限り誠意をもってお答えします！

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「雷（雪）の決勝戦！？」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。



1月13日国立競技場、ラグビー大学選手権の決勝は、前半途中から雷による 55 分間の中断を経て、帝京大学が明治大学を 34 対 15 で退け、3連覇を成し遂げた。

試合開始前の好天が一転して、雨からみぞれ、そして雪に変わり、雷鳴が轟き始めたところで、落雷の危険を回避するため、前半の途中から結果的に55分間の中断となった。

再開後も雪は降り続き、あの伝説の『雪の早明戦』（旧国立競技場：1987 年（昭和 62 年））を彷彿させ、令和の伝説の一戦になる予感がしていた。



当時はテレビ観戦だったが、旧国立競技場で6万人超えの大観衆の中での大激戦で、非常に強烈な印象を覚えている。都心で12月初旬の大雪は戦後初とのことで、当日未明から降り積もった雪を関係者総出で雪かきを行い試合開催に持ち込んでいた。実は、その翌週も大雪だったが、サッカーのトヨタカップが同じ旧国立競技場で開催されている。

サッカーでの雪の国立と言えば、1998 年（平成 10 年）1月の高校選手権、東福岡と帝京の「雪の決勝」が屈指の名勝負として有名で、当時これもリアルタイムでテレビ観戦していた。

『雪の早明戦』は、まだトライの得点が 4 点の時代で、試合は早大が 10 対 7 で明大に競り勝ち、その勢いで大学選手権を制覇し、日本選手権では社会人の東芝府中を破り日本一になっている。（これが日本選手権

で大学が社会人を破った最後の試合である）



最近あらためて『雪の早明戦』の試合映像を見直したが、当時は戦略的な選手交代は無く、HIA（脳震盪チェック）も無く、倒れた選手には、「魔法のやかんの水」が大活躍していたのが非常に懐かしかった。

ただ、いわゆる鳴り物が無いラグビーの応援スタイルは、昔も今も変わらず大学名のコールのみというのが、本当に清々しい。

明大には吉田義人、早大に堀越、今泉という後の日本代表を背負うスーパー1年生が揃っていて、この試合でも大活躍しており、明治大学推しの自分としては、非常に悔しい敗戦の記憶がある。



今回の決勝も、下馬評では3連覇を狙う帝京大が圧倒的優勢だったが、明治大学が創部 100 周年ということで、何とか勝利を挙げて欲しかった。

スタンドからの応援は、メイジ！メイジ！のコールが帝京大を圧倒していたが、さすがノーサイド精神を大切にするラグビー、試合後に両者の健闘を称える声援は、まったく互角で、雪の決勝戦を堪能していた。

後日談で、この両チームのキャプテン（帝京大：江良、明治大：廣瀬）は、素晴らしいキャプテンシーを発揮していたが、卒業後に社会人の同チーム（リーグワンのクボタスピアーズ）に進むことが決まり、今後の活躍が興味深いところ。

最後に、ラグビーの話ではないが、応援コールといえば、最近の高校野球で大ブームを巻き起こしていたのが、ほとんどのチームが採用していた「盛り上がりが足りない！」

「も！もり！もりあ！盛り上がりが足りない！」というシンプルなコールを繰り返すのだが、夏の甲子園で仙台育英を下して優勝した慶應高校は、監督の名前をもじって、「モリバヤシが足りない！」とアレンジしていた。



このコールは、もともと 2019 年の高校サッカーらしいが、相手チームと掛け合いで出来るところも特徴で、まさに盛り上げにはかかせない応援コールである。

監査室　S

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：新沼）
022-217-5680，4880（佐々木、熊谷、齋藤、國分、清水石）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University